



# 霧が丘

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kirigaoka/>

E-mail:y3kiriga@edu.city.yokohama.jp

横浜市立小中一貫校  
霧が丘小中学校（小学校）  
平成 27 年度通算第 221 号  
平成 28 年 1 月 29 日発行  
児童数 664 学級数 22

## 人とのつながり～地域の中で育つ子ども達

准校長 宇都宮 桂



陽に当たると暖かさを感じますが、一年の中で最も寒さを感じる季節となりました。2月4日は「立春」です。立春は正確には春が立つ、という意味で、立春を越えると寒さが段々和らいでいきます。

さて、今から 21 年前の 1995 年 1 月 17 日に、阪神淡路大震災が発生しました。また、5 年前の 2011 年 3 月 11 日の東日本大震災の発生があったことは記憶に新しいところです。

東日本大震災発生当時、私は十日市場中学校に勤務していました。発生後、大地震の恐怖や余震の不安から、多くの地域住民が防災拠点となっている中学校へ避難をしてきました。電話が繋がらないので地域防災拠点運営委員長さんの家を訪問し、避難者を格技場に誘導しました。停電で電気が点かないため、発電機で照明器具を点け、学校のストーブを焚き、毛布やカンパン等を配布しました。車で来校した区役所の方に燃料の補給もお願いしました。避難者の中には未就学の子どものもおり母親と乳児の弟と 3 人で不安な顔を浮かべて体を寄せ合って一晩を過ごしている姿もありました。翌日以降は、震災の影響で公共交通機関の運休、計画停電、ガソリンスタンドが開いていれば給油のための長蛇の列、また、お店では水やお米、パン等の棚が空になっているという日常見かけない風景があり、人々の不安を募らせていました。

霧が丘のまちでは、1月16日(土)・17日(日)の二日間、連合自治会主催の総合防災訓練が行われました。霧の里での宿泊訓練もあり、二日間に渡り延べ 400 名以上の参加者があり、緑消防署のご協力の下、初期消火訓練、簡易担架搬送訓練、小型ポンプ放水訓練、煙体験、起震車による震度体験等が行われました。本校からも生徒会本部役員、野球部、卓球部、サッカー部、児童運営委員会の中で参加できる子ども達 50 名程が、訓練や体験を行い、身をもって防災の理解や対応を深めることができました。

人間は一人では生きられません。だから、人とのつながり、地域とつながり生きてきました。しかし、現代は、テレビ、スマートフォン、インターネット等の発達と普及で、人とのつながり希薄になり、顔が見える関係が少なくなり、感謝や思いやりの心等を失いつつあります。

そこで、学校では学級や学年はもちろん、小中学校での児童生徒の交流活動を促進し、人とのつながりから自分に自信をもつ、人に優しくする、人に役立つことが出来る等の育成に当たっています。

また、子ども達は、地域の皆様にご支援をいただき、地域の中で育っています。霧が丘小中学校を卒業し、進学先が霧が丘を離れても、就職先が他都市であっても、転居しない限りこの霧が丘で生活していきます。そんな中、今回の総合防災訓練は、人と人とのつながり、人と地域のつながりの大切さを改めて感じると共に、自分達の生活を振り返るきっかけにもなったと思います。今後も地域の皆様にご支援をいただきながら、学校でも教育活動を進めてまいります。（防災に関しては、月 1 回の避難訓練を実施しております。また、先日学校から配布させていただいた「家族防災会議」についてもご家族でお話いただけますようお願い申し上げます）

なお、本校でインフルエンザ症状による欠席者が出ております。感染予防のため、手洗い・うがいの励行を指導しています。是非、ご家庭でも体調管理にはご留意いただけますようお願いいたします。

スマイル・ハイタッチ

人とのつながり～地域の中で育つ子ども達

スマイル・ハイタッチ